



故郷岩国の生家にて

宇野千代展 華麗なる作家の人生

宇野千代(1897~1966)は、98年の生涯において、小説家としてのみならず、雑誌編集や着物のデザインなど多彩な活動を行いました。数々の恋愛や交友を糧に歩んだ人生は起伏の多いものですが、常に前向きで自由闊達な姿勢が、今を生きる人びとをほげましつづけています。本展は千代の作品原稿や挿絵原画、愛蔵の品々などの資料によってその生涯と活動を展覧するものです。宇野千代という比類ない女性作家の魅力を広く伝えつつ、その文学的業績をあらためて見つめ直します。



大正3岩国高等女学校卒業時の千代
三井水一画

宇野千代 うのちよ

明治30年山口県岩国市生まれ。大正3年岩国高等女学校卒業。大正10年処女作「脂粉の嵐」で懸賞雑誌小説一等入選。作家活動に入る。昭和10年初期代表作「色ざんげ」を発表。昭和11年スタイル社設立。女性誌「スタイル」創刊。昭和32年代表作「おはん」で野間文芸賞、昭和33年女流文学者賞受賞。昭和46年「春風」などで女流文学者賞。昭和47年芸術院賞受賞。昭和48年芸術院会員。昭和58年「生きて行く私」を発表、ベストセラーとなる。平成2年岩国市名誉市民となる。文化功労者として顕彰される。平成8年没。勲二等受勲。享年98歳。



自撮の錦帯橋と千代



NPO 宇野千代生家

〒741-0082 山口県岩国市川西2-9-35

☎0827-43-1693